

平成25年度老人保健事業推進費等補助金事業実施計画(概要)

事業名

在宅療養患者の栄養状態改善方法に関する調査研究事業

事業実施目的

高齢者のより質の高い在宅生活を維持・継続するために、特に摂食状況（食にまつわる環境等も含む）や栄養状態に着目して、在宅療養高齢者の栄養状態の変化や多職種による栄養状態改善の取り組みについて調査・把握し、課題を分析します。

事業実施予定期間

平成25年5月31日から平成26年3月31日まで

事業内容

国立長寿医療研究センター、全国在宅支援診療所連絡会を中心に各在宅医療・介護の関連団体の協力のもと、在宅療養高齢者における摂食状況（食にまつわる環境等も含む）や栄養状態を昨年度の対象者について追跡調査を実施します。また、多職種による栄養改善の取り組みについて、在宅療養高齢者を対象とするケーススタディを実施します。これらをもとに在宅療養高齢者の栄養状態に関連する要因を明らかにし、多職種連携における低栄養改善に向けての解決策を提言します。

事業の効果および活用方法

在宅療養高齢者の栄養状況に関連する縦断調査を実施することにより、在宅療養や栄養状態に関連する要因を明らかにし、高齢者の在宅生活における栄養状態の維持・改善が期待できます。また、調査の実施により、在宅医療・介護従事者の栄養に対する意識の向上と、多職種協働によるより良い医療・介護サービスの実施が期待できることから、将来的には在宅医療の質の向上につながると考えています。

在宅療養高齢者(約1000名) の栄養調査(昨年度の追跡調査)

調査項目の選定

調査票の作成
調査マニュアルの作成

調査実施

データ分析

期待される成果

1. 追跡調査より、昨年度の在宅療養高齢者の栄養状態の1年後の身体状況への影響や、在宅継続要因について検討する。
2. 多職種専門職による在宅療養高齢者への栄養改善の具体的な方法を分析することで、栄養介入により有効な要因を抽出し、栄養介入モデルを提言する。

事例検討 在宅療養高齢者の栄養状態改善への 多職種による介入について

調査項目の選定

調査票の作成
調査マニュアルの作成

プロトコル説明会
の実施

調査実施

データ分析

調査にご協力いただいている機関・団体

全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会、
日本訪問看護財団、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会、
日本介護支援専門員協会、全国訪問栄養指導研究会